



○ 障地帯居住防禦工事ノ活潑化敷置策ヲ以テシテ海上全カヲ舉  
テ敵機ヲ吸引撃墜セシムル事

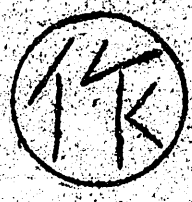
海

(四)

第拾信



昭和十九年十月二十日	工勇
訂正	紙



關係電報 受信月日 十月十九日

發信者 八艦隊P

着信者 大本營海軍部・聯合艦隊P・南東方面艦隊P

受報者 南西方面艦隊P・一、二、三各航空艦隊P

機密第一九一二二七番電

電信課整理番號(一〇一六三)

東 適整理番號(一二五六〇)

一、本文四行目「軍使夕ロキナ」一週間「ヲ」軍使夕

ロキナ派遣一週間

二、本文五行目「及支隊G.M」ヲ「及其ノ間O.B.M」

ニ夫々訂正サレ度

再調査眼檢ニ依リ

訂正理由

三

(終)

電一〇七四五 作△

親作

一九

受信一六三〇九

譯了一七一〇

電〇九九八一

作

特別緊急

遊撃部隊

遊撃部隊

大海参一部・南西方面艦隊口・第一機動艦隊口・五艦隊口

陸軍

機密第一九一四五三番電

聯合艦隊參謀長

通信謀報其ノ他ヲ綜合スルニ敵主力ノ「タタクロパン」上陸ハ二十二日乃至二十三日ト判斷セラルルニ付テハ第一遊撃部隊ハ補給其ノ他ヲ考慮シ一部缺トスルモ二十四日黎明時萬難ヲ排シ敵上陸點ニ突入スルヲ可ト認メラルルトコロ之ガ能否至急承知致度尙返電ハナルベク貴隊ノ所在ヲ察知セラレザル如ク考慮アリ度念ノ爲。

通一二五〇八 A A (B) G P P

海軍

第十信







第一課長					
A					
B					
E					
J					



第十課課長

緊急  
親展

一〇二〇  
開始 〇〇九四〇  
丁一〇〇五 電一〇三五八

官房・令副  
一令・人事  
四令・事務

無線電所用共通符號

東 運

暗號軍機

機密第二〇〇七〇七番電

發 龍鳳艦長

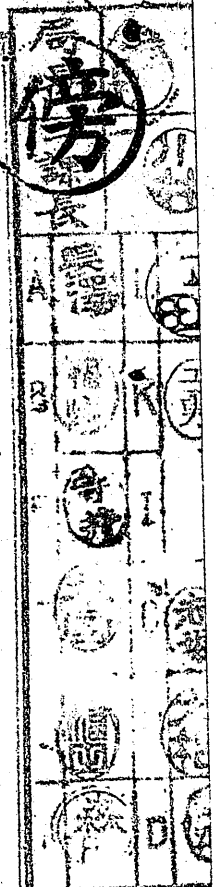
宛 軍令部第一部長

内地防空戦闘機（海陸軍共）ノ大部及練習航空隊教官教員ノ大部ヲ速ニ決戦正面ニ投セラレル要アリト認ム空輸機進不能ノモノハ岩國航空基地ニ於テ吳方面所在ノ空母（五隻アリ）ニ搭載輸送可能ナリ。

通一三九二七 呂二A B 具通

海 軍





親展

二〇二〇 受信開始 一〇四五

丁一一四〇 電一〇三八九

特護 暗

● 南西方面艦隊口

● 第二艦隊口・第一艦隊△

機

機密第二〇〇七五三番電

空 戒部隊參謀長

空 聯合艦隊參謀長

一 Y B ノ「タタバン」方面進入附近一帯上陸部隊砲撃味方打ヲ避ク  
ル爲書部隊ヨリ參謀ヲ水偵ニ依リ二十一日迄ニ「アルネイ灣」ニ派  
遣旗艦武蔵ニ乗艦セシメラレ度。

通一二九五六 口四△(B)OP口

海

軍



作

長	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十
長	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十
長	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十
長	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十
長	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十
長	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十
長	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十
長	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十
長	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十
長	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十

一〇二〇 開始一六〇〇 一六三〇 一〇〇五 一三 作・△

作戦特別緊急

- 海上艦隊司令部 各口下・聯合艦隊各口下・支那方面艦隊各口下
- 大本 營・南方軍(隊) 總司令部(第三十一通氣付)

機

機密第二〇〇八一三番電 二分ノ一ニ

聯合艦隊電令作第三六三號

一 敵ハ一部ヲ以テ印度洋方面ニ我ヲ牽制シツツ其ノ主力ヲ以テ中菲上陸ヲ敢行シツツアリ

二 聯合艦隊ハ陸軍ト協同全力ヲ擧テ中菲方面ニ來攻スル敵ヲ殲滅セン

三 YB(第一) 遊撃部隊ハ二十五日(木)日(黎明時) タタロバン

海軍(一) 第一三〇九四・一三二〇六 B三A B FG

第十回

方面ニ突入先ヅ所在敵海上兵力ヲ擊滅スルヲ最要トシテ敵機動ヲ殲滅スベシ  
 又KDMBハ一YBノ突入ニ策應シテルゾシテ海峽東方海面ニ機宜行動  
 シ敵ヲ北方ニ牽制スルト共ニ好機敵ヲ攻撃殲滅スベシ  
 再南西方面艦隊司令長官ハ菲島ニ集中スル全海軍航空部隊ヲ指揮一Y  
 B突入ニ策應敵空母隊ニ攻撃部隊ヲ併セ撃滅スルト共ニ陸軍ト協同  
 速ニ海上機動反撃作戰ヲ敢行敵上陸部隊ヲ殲滅スベシ  
 又六FGBハ主力ヲ以テ二十四日ハ「<sup>パ</sup>ネオ」ヲ期シ敵機動部隊ニ  
 對シ總攻撃ヲ決行シ得ル期ヲ菲島ニ轉進南西方面艦隊司令長官ノ作  
 戰指揮下ニ入ルベシ  
 又五日ハ既令ノ作戰ヲ續行スベシ  
 又爾餘ノ機動作戰部隊ハ特令スルモノノ外現任務ヲ續行スベシ。

攻略判

第十信課

海軍





一〇二〇 受領 一一三二〇 丁 一一四一 電 一〇三九〇

△海特 藤暗

作戰要旨

親展

● 聯合 艦 隊 口

● 鐵 無 線 艦 所 用 共 通 符 號

● 進 擊 部 隊 口・第 二 進 擊 部 隊 口・第 一 航 空 艦 隊 口・第 二 航 空 艦 隊 口  
 ● 第 三 航 空 艦 隊 口・第 五 一 航 空 艦 隊 口・南 西 方 面 艦 隊 口

暗號軍機

機密第二〇〇九一五番電

發 機動部隊本隊指揮官

二十日一四〇〇出撃準備完成ノ豫定時令ナケレバ直ニ出撃K D M B  
 機密第一〇八三一番電通行動ス。

通一二九七四 呂三A B C

海 軍

海軍省  
 機密課





作

局長

一課長

A 長官事務

B

事務

C 庶務

D 秘書

E 庶務

F 庶務

G 庶務

H 庶務

I 庶務

J 庶務

K 庶務

L 庶務

第十倍課

緊急

一〇二〇

電話一三三〇

電報一三三〇

電報一三三〇

和令作  
通令△

● 南東方面艦隊司令部

● 東京海軍工廠

● 無線電所用共通符號

機號機

機號二〇〇九五〇

發 給 四 國 海 軍 艦 隊

青 島 海 軍 第一七〇七四三番艦隊

野 田 海 軍 第一七〇七四三番艦隊

海軍



	高橋 長	
A		L
B		K
		I
J		C
		H
		D



第十卷 録

親屬

作樂

二〇 親屬 一三三三 一五三三 三〇三三 三三三三

- 第一機動隊 第二機動隊
- 第四方面軍 第五各師團

暗號軍機

機密二〇一A〇二番

聯合艦隊司令部第三六五號

第一海軍部 第一海軍部

海軍 第一海軍部 第一海軍部





「...」...  
...  
...

...  
...

...

...  
...

...  
...

...  
...

...  
...

...

海

軍







作

長	課長
一	課長
二	課長
三	課長
四	課長
五	課長
六	課長
七	課長
八	課長
九	課長
十	課長
十一	課長
十二	課長
十三	課長
十四	課長
十五	課長
十六	課長
十七	課長
十八	課長
十九	課長
二十	課長

第十課

一〇二二 受信一四四二〇〇 譯了一五二〇 電一一一一九 作△

緊急 相慶

南西方面艦隊口

● 大海参一部・第二遊撃部隊・遊撃部隊口

機密

機密第二一一二〇八番電

聯合艦隊參謀長

一、G K F 機密第二〇二一三七番電返

在臺灣六八旅團ノ輸送ニY B 子充當セザル件實見ニ同意ニシテ

同旅團ハ別途輸送ノコトニ參謀本部トモ連絡済シ

二、Y B 當面ノ作戰ハ第五艦隊機密第二〇一八〇六番電ノ要領ニ依

リ實施スルヲ適當ト認ム但シ一Y B ト混淆ヲ避クルト共ニ牽制奇

襲ノ目的ヲ以テY B ハ一Y B ノ突入ニ策應「スリガオ」海峡ヨ

通一三八〇七 P 二A (B) G F H

海軍





局長	作				

第十回

親展

受領 一八三〇〇

了 一八五四

電 一一二九〇八

作 △

三一通

五六各基地航空隊・九五四空・九五五空  
 大本營航空隊  
 聯合艦隊司令部・一機動隊司令部・一二各遊撃部隊・南西方面部隊各口

暗號車

機密第二一一三四五番電

二分ノ六二

南西方面艦隊電令第六七九號

一本隊ハ聯合艦隊電令第三九〇號ニ依リ菲島方面集中全海軍航空

部隊ヲ指揮シ海上部隊及陸軍部隊ト緊密ニ協力先ヅ菲島東方海面

ノ敵機動部隊ヲ擊滅引續テ攻取ル艦隊ヲ破滅セントス

二六日ヨリ菲島進出以後菲島方面所在各航空部隊緊密ニ共同聯繫シ

左ニ依リ作戰スベシ(總隊名・指揮官・兵力・主任務)

(4)五〇〇〇一△長官五〇〇〇〇(指揮下兵力ヲ含ム)敵空母奇襲

通一三九二九・一三九二三 片二△ヲ十五(八八八四)三一通

海

軍

攻撃及菲島東方海面警戒

(ロ) 六〇〇 B 二 A P 長官六〇〇 B 隊各一指揮下兵力ヲ含ム

敵機動部隊次ヲ敵攻略部隊攻撃及警戒偵察網ヲ

(ハ) 九五四部隊九五四航空隊司令九五四部隊一指揮下兵力ヲ含ム

艦隊ノ對潛警戒及海上交通保護

(ニ) 九五五部隊九五五航空隊司令九五五部隊(ハ)項ニ同シ。

第十條

海軍





一〇二二 受信〇四四〇八 譯了 一〇一〇 電一四九八 作檢 Δ

作戰緊急

三三根 戰國機報着信終所

三三根

暗號軍機

機密第二一二一三〇番電 二分ノ一

戰國機報第一四號 (十月二十一日)

一〇七三〇 一五五〇 迄五次ニ且リグラマン一團ダダラスレバリツ

ク等一二四來襲

(甲) 戦果 撃墜七 撃破九

(乙) 被撃 重傷三 輕症八

(丙) 其ノ他 宿舎若干ノ被撃アリ

ニタクロバン 陸軍情報

ラク

(四) 六日 灣内一〇〇隻 目下上陸兵力約一ヶ師團内外外々 正函ニ

通一四二一七 呂一A (八八八四四) 廿一通

海一 軍



第十個 課

於予毛約一々師團出敵上陸準備中ノ如シ

一東浦駐 際守極、テ多キ爲難産

一東浦駐 本館二分ノ二觀配布

第拾  
録

海  
軍





緊急  
親展

一〇三三  
陸海軍  
陸海軍

陸海軍  
陸海軍

陸海軍  
陸海軍

暗號

陸海軍  
陸海軍

陸海軍  
陸海軍

陸海軍  
陸海軍

陸海軍  
陸海軍

陸海軍  
陸海軍

陸海軍  
陸海軍

陸海軍  
陸海軍

陸海軍  
陸海軍

海軍

陸海軍



高長	一長	一長	一長	一長	一長	一長	一長
一長	一長	一長	一長	一長	一長	一長	一長
A	B	C	D	E	F	G	H
一長	一長	一長	一長	一長	一長	一長	一長
一長	一長	一長	一長	一長	一長	一長	一長
一長	一長	一長	一長	一長	一長	一長	一長
一長	一長	一長	一長	一長	一長	一長	一長
一長	一長	一長	一長	一長	一長	一長	一長

一八五三 作・△  
三三三三三三

拾一信認

● 第三直達艦隊  
● 一六號艦隊

暗號軍機 機密第二二二一六四〇番

機密第二二一九五四番 閣下向急員ト左記ノ通協願セ

付オルモツ少揚格用船艦機一〇大設一〇(有ノ外セブニハ大設

ラシ)

一〇カガマン一乗船用大設ハ同地ニ一〇隻隻有ル由

向候テ九・一〇船檢送艦ニハ大設揚格キズ一六日ト共ニ檢送ヲ使用

希望ヌ

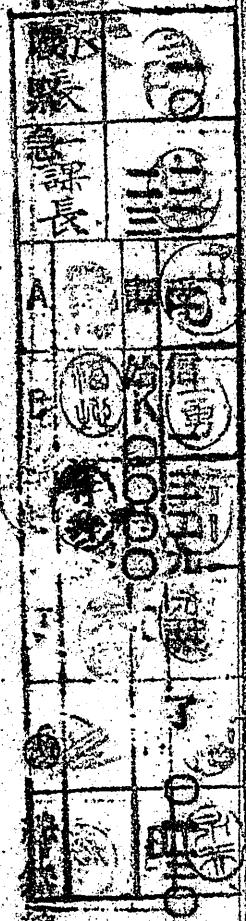
檢船揚格機ヲ容易ナラシム爲逐次入港希望ヌ

通一四七二六 民二八五十五(一)世一通

海軍



作



電 一八五一 作・△

無線機所用共通符號

大本營海軍部・聯合艦隊司令部・南西方面艦隊司令部・一遊撃部隊△

第二艦隊司令部

海軍第六十七各基建設航空隊司令部・一六戰隊司令部・機動部隊△・？

暗號軍機

機密第二二二二〇二〇番

第二〇二〇指揮官

二〇二〇 (第二十一戰隊第一水雷戰隊) 左ニ依リ行動ス一〇二〇係三部  
 隊ニ接スルト共ニ「スリガオ」海峡ヨリ突入決戦二十三日夕刻「コ  
 ロン」着捕給二十四日〇二〇〇出撃「十月二十四日一二〇〇A點(北緯九度四〇分東經一〇度三〇分)十月二十四日三〇〇〇B點(北緯八度五〇分東經一二二度五〇分)二十五日〇六〇〇〇點(スリガオ海峡入口)ニ至リ

通一四七〇〇

馬四A (八八八四點) 折一通

海軍

第十信課

作

親

親	作	作	作	作	作	作	作
作	作	作	作	作	作	作	作
作	作	作	作	作	作	作	作
作	作	作	作	作	作	作	作
作	作	作	作	作	作	作	作
作	作	作	作	作	作	作	作
作	作	作	作	作	作	作	作
作	作	作	作	作	作	作	作

第六軍團司令部通信所

丁政軍部、二遊軍部、十六國部、非島部、飛行機隊配備基地

聯號軍機

聯號二三〇九〇九番

友軍の行動線定左、通味方視測ニ留連スルト共ニ直衝線陸上陸海通  
ヲ禁ズ

一 陸軍部隊本部 二十三度〇六〇〇北緯二三度〇〇分東經一三二度一〇分

二 第六〇〇北緯二二度一五分東經一三〇度一〇分

三 第六〇〇北緯二〇度〇〇分東經一三六度一〇分

四 第一遊軍部本部 二十四度〇六〇〇北緯二二度一五分東經一三〇度一〇分

五 第二遊軍部本部 二十四度〇六〇〇北緯二二度一五分東經一三〇度一〇分

第十信線



八月二十日イノ海峽二十五日黎明スルマニ島附近

第二機隊最上級巡邏艦四隻三六日昼間スル海峽過日没時ホクノ島

南方二十五日黎明スルオホノ海峽

三、二日二十四日昼間パンカ島北部同夕刻以後概キニSニ同シ。

第七信課

海

軍





機石(24口)高度概テ2000米以上ニ來龍之下交  
 戰事破一機(確實)及被彈機數機認メタルモ  
 墜機ヲ認メ五番砲九舷及三番砲附近ニ直撃  
 彈ニ及ボ至三發及全周ニ至近彈多數ヲ受テ砲  
 銃殆ド壊滅後機破壊水雷砲臺火災尙前機  
 ニ軸ヲ航行ヲ續ケタルモ二三七遂ニ水雷砲臺  
 大爆發(残存真雷八本)之ガ為中部大破  
 壞機滅止暫次海水ニ入り且重油ノ多ク火  
 災ヲ起シツツ尤舷ニ傾斜一ニ四ニ現設セリ  
 現設位置及生存者潮機密第ニ六三三  
 番電及ニ六八〇番電ノ通。

(及文館約)

海軍

傍

作戰緊急

○ 二八 受信 ○ 二二五 譯始 一 二〇〇 〇 了 一 四〇〇 電 一 四七〇 二 作 參 本

- ◎ 三〇 根 戰 闘 概 報 着 信 艦 所 ・ 七 六 一 空 ・ ？
- ◎ ダバオ、第二ダバオ、ザンボアンガ各航空基地

暗號軍機

機密第二七一九四三番電

陸軍ヨリ得タルPPP方面ノ情報局長一課長

A					
B	K				
		I			

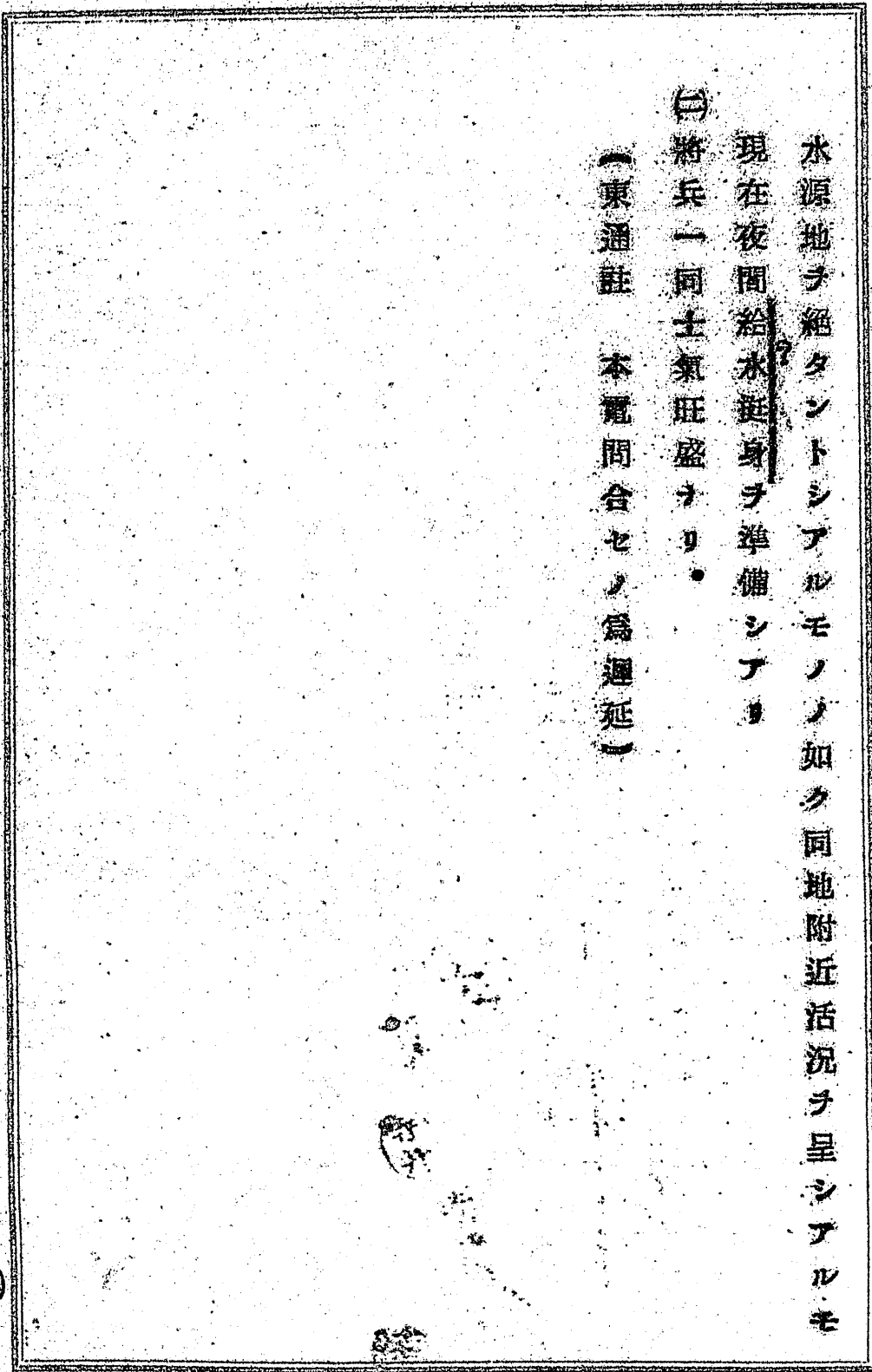
一十月二十四日（二〇〇〇迄ノ情況）  
 (一) 戰線膠着狀態ニシテ大ナル變化ナキモ北東ニ進出完了セル敵我陣地近ク土囊ニ依ル陣地ヲ構築シ且飛行機射撃ヲ執拗ニ實施シアリ  
 三二十五日（一六〇〇迄ノ情況）

(二) 戰線大ナル變化ナキモ南征山北部活潑ナリ敵ハ西南側陣地ノ我方

通一七九七一 呂一？（八八八四KG）三一通 廣島（福田）海軍

第十信





水源地ヲ絶タントシアルモノノ如ク同地附近活況ヲ呈シアルモ  
 現在夜間給水挺身ヲ準備シアリ

○將兵一同士氣旺盛ナリ

（東通駐 本電問合セノ爲遲延）

第十信線

海  
 電



# 緊急親展

一〇二八 受信一六三四五 了

電一四八一〇

△作・△本

●七潜水艦隊

●大連艦隊・聯合艦隊司令部・四連艦隊  
六連艦隊・三新空母艦隊

## 暗號軍機

機密第二八一三三一三番電

七日ヨ電令作第五一號

一 伊號第三六七潜水艦 伊號第三六五潜水艦ハ左ニ依リ聯合艦隊

電令作第三七八號ノ作戦動向ヲ覆カスベシ(艦名ハ△△出撃後定

期日行先)伊三六七ヲ「サ」ニ「イ」ニ「三」ニ「六」ニ「五」ニ「リ」ニ「イ」ニ「セ」ニ「フ」ニ

三伊號第三六七潜水艦ハ歸途情況ニ依リ第三△△電令第八號ニ依ル

●基地員ヲ收容スベシ。

局長	一	長	
A	L		
B	K		
J	I		
G	C		
F	D		

通一八二四七

呂二A

B

一横通

海

軍

第電十信課



作

緊急親展

受領一七四五 一五七三二 作 △

● 海上要務課

● 高橋・九〇一控（東部航空基地）南西方面連絡

軍機 機密第三〇一〇二一委電 二分ノ一、二

陸 海軍 貴族院等二七一二三五番電返 一貫情

(1)第九〇一隊早航空隊大艦ハ殆下全機敵ノ機動部隊索敵ニ使用同 敵機探獲ハ迅速偵察且建軍部隊直衝トスベキ勢力ヲ測リ又船團 敵機動部隊ノ空襲ヲ避クル爲洋中航路ヲ探リシタノ航空隊衛ノ

通一九三三六・一九三三八 昌三A(七五〇五)高雄 海 軍

第十信 照係

(1) 南支那海ニ於ケル敵潛ノ網集一盤開集中攻撃ヲ受ケシモノ多ク  
 (2) 急遽編成通過船團多ク船團ノ結束不充分且聯合艦隊ニ護衛艦派  
 遣ノ爲各艦團共ニ護衛兵力不足  
 (3) 高警放ニ菲島部隊對潛航空機放ニ對潛艦艇ノ護衛協力不足

二 要策

(1) 第九〇一海軍航空隊及第九五三海軍航空隊（第九五四海軍航空  
 隊）消耗兵力ヲ急速原兵力ニ回復スル要アリ（九〇一空大隊ハ  
 殆下消耗指宿ヨリ派遣ノ二機ヲ加ヘテモ可動見込三機程度）  
 尙敵探機ハ柱復船團同時護衛ノ爲高雄一ヲオアケルイハルニ  
 常用各一二機ミリ三亞ニ各九機宛絕對必要ナリ（「アパリ」基  
 地ハ當分ノ間使用ス）  
 (2) 電探機探機（小型機天山）ノ急速完備  
 (3) ルソン海峽部隊ノ増強放ニ編成ノ再檢討



同中夜及小型艇ニ依ル夜間暗航能力ノ向上  
對在支艦軍ノ模範。

海

第  
十  
編



緊急親展

三〇 三〇 受領部六五人 丁三八七七 五七〇二 作

局長	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)
一課長	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)
A	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)
B	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)
E	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)
J	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)
(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)
(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)	(Seal)

大本營海軍部 奥領・高野・三谷

暗號軍機

複號第三〇一四〇六番

本電軍機

聯合艦隊司令部第五〇三號

第二水川丸ハ機須敷ヨリ「マルネイ」直達應着收容並治療品ノ補給ニ任シタル後「タラカン」ニテ燃料搭載ノ上「マニラ」高雄經由別府ニ回航待機スルニ「マルネイ」着後定メ十一月四日戻トス。

海軍

海軍

第十信 照



作

親展

受領 一〇二五五

一〇二三八

一〇二〇二

作

△

- 海上陸軍總司令部
- 高 警・南西方面艦隊司令部

王勇

王勇

王勇

王勇

暗號軍機

機密第三一〇八五八番電

機密機密第三〇一〇二一番電一ノ(中)ノ、機密協力不足トアルヲ一  
機密機密協力兵力不足ト訂正。

通一九七四〇

口三入六(一三五二〇) (海軍)

海

軍

第十信 録

林	
課長	
A	
B	
C	
D	
E	
F	
G	
H	
I	
J	
K	
L	
M	
N	
O	
P	
Q	
R	
S	
T	
U	
V	
W	
X	
Y	
Z	

第十個課

親展

一〇三一  
 受信一九七五  
 開始一九二〇  
 了二〇〇〇  
 電一六六二一三四  
 捷作  
 人航本

- 聯合艦隊各口
- 南東方面艦隊口
- 大海軍一部・航空本部・軍務局・人事局・海上護衛總口
- 各領・各警・支那方面艦隊口

暗號軍機 機密第三一一三五八番電二分ノ一二

G P 電令作第三九〇號

一 第一機動艦隊司令長官へ第六〇一第六五三第六三四各航空隊ノ内地殘留隊ノ〇級以上搭乗員ヲ以テ左記標準ノ編成攻撃隊ヲ臨時編成シ基地作戰ヲ進働セシムベシ

荒廢機材ハ主トシテ右各航空隊保有中ノ内地殘留未整備機材ノ急遽完備ニ使ルノ外別ニ指示ス甲級(二四)戰艦(二四)艦偵(四)艦

一九九六五・一九九五一口三A(電)G P F

海軍



一八(八) 敵攻(八) 本機(八)

三 本攻隊隊ヲ以攻隊部隊ト呼稱ス指揮組織ハ一KDF長官所定ニ依リ

道宜部下隊員ヲ以テ臨時編成ノヲ附スルモノトス

三 本攻隊部隊ノ非編進出時機ヲ十一月十五日ト決定ス

四 KDF長官ハ本攻隊部隊ニ編入セザル附隊ノ六〇一空六五三空六三

四 空各航空隊機留兵力ヲ六〇一空ニ總合整頓一隊戰司令官ノ指揮下

ニ次期母艦兵力ノ再編ヲ準備セシムベシ

右使用基地ヲ主トシテ松山大分岩國トシ基幹員ノ補充及充當機材ニ

關シテハ進テ指示ス

第十回線

海軍